

# Article related to education of Canada



カナダの企業でインターンを経験し、今後のキャリアに生かしたいという市毛一平さんと与那比紗子さん。日本と異なる環境で英語を使って得たの下で得た貴重な経験から、今後のさらなる挑戦へと意欲を燃やす二人に話をうかがった。

## Ichige Ippei

### 市毛 一平さん

1979年7月3日、岩手県生まれ。青山学院大学国際政治経済学部卒業。趣味はスポーツ観戦、映画鑑賞、海外旅行と幅広い。会社では営業部門で活躍している。



インターンシップの世話をしてくれたブルース・ニクソンさん（左）と

### ■ まずはビジネスで使える英語をみっちり勉強

市毛さんはカナダのバンクーバーに2007年7月1日から9月22日まで滞在した。インターンシップを通じて、ビジネス英語への自信と今後の英語学習への意欲を得たという。

市毛さんはまず、カナダの語学学校で7月1日から約2カ月間母国語厳禁という環境の下、平日は毎日、2時間の個人授業と4時間のグループ・レッスンを受けてきた。授業ではリスニングとスピーキングに重点をおいたビジネス英語を中心に、ブラジル、スペイン、韓国からの留学生達と席を交え勉強に取り組んだという。

授業では、各自が新しい商品を企画し、クラスメートの前で発表するという実践的な演習も行ってきた。その授業で市毛さんは音楽に関する商品を企画し、ビートルズの *Help* を熱唱。分かりやすさに重点を置いて自分の企画商品を説明し、Best Presentation Person に選ばれたという。

### ■ 英語がしゃべれるだけではかなわない

香港、オーストラリア、中国、シンガポール…。25年の人生のうち、約8年を異国の地で過ごし、ネイティブレベルの英語、北京語を初め、インドネシア語、広東語、タイ語など全部で10ヶ国語をも操る柴本翔さん(25)。一見、恵まれた環境の中当然のごとくマルチリンガルになったかのようだが、彼を支えたのは自身の「言語」と「アジア」へのためまぬ情熱だった。

現在、大手金融企業の日興アセットマネジメントで働く柴本さんは、銀行勤務の父親の転勤で小学3~6年までを香港のインターナショナルスクールで過ごし、英語を習得。「言語」への意識が強くなったのは豪・メルボルンのセントマイケル高校留学時代。現地で出会ったアジア諸国の華僑に

大きな刺激を受けたという。「彼らが母語以外に英語、北京語、広東語など、当たり前のように数ヶ国語を操るのを目の当たりにし、英語がしゃべれる位では将来、対等にやりとりできない」と感じたという。まず北京語とインドネシア語の学習からスタート。各言語の家庭教師をつけ、移動中やお風呂では単語暗記、速読法の学校に通うなど、さまざまな努力と多くの時間をかけ、気が付けば10ヶ国語を習得していた。それでも勉強は全く苦にならなかったという、なぜなら「アジ



キャプション

### ■ 仕事を楽しんで、プライベートも大切にできるカナダ

語学研修の後の約2週間を、インターンシップ生として取り組んだ実際の仕事の現場では、女性にも使いやすいスクリーンドライバーを日本や中国などのアジア圏に導入するために、量販店視察などの市場調査、商品PR資料の作成、資料の英訳、社長への報告文書を英語で作成するなどを体験した。これらを通して「海外でのビジネスを肌で感じた」という。カナダの現場で特に感心したのは、トラブルが起きた際、日本では個人の責任とされるようなことでも、社員全員が集まり一致団結で問題の解決に取り組んできたことだという。そういったカナダ人のチームワークの良さから国民性の豊かさを感じたそうだ。

カナダでは仕事は定時に終了し、家で過ごす時間を大切にできる毎日だった。市毛さんはインターンを体験しながらも、ホストファミリーに誕生日を祝ってもらったり、野球観戦



インターンシップ先で同じくインターン生として働いていた同僚と

にシアトルまで連れて行ってもらい、イチロー選手の活躍を生で観戦してきたことを話してくれた。

日本に帰国後は、アメリカ人との打ち合わせなどで、カナダで習得した英語を活用しているという。しっかりと対応はできているが、「まだ細かい説明などの局面では太刀打ちできないところもあるので、今後の活躍の場を拓けるためにも、さらに英語の勉強をがんばりたい」、市毛さんはそういう決意を語ってくれた。

(聞き手/編集部・米澤佳織)

## Yona Hisako

### 与那 比紗子さん

1982年東京生まれ。合計8年の海外生活を経て、10ヶ国語を習得。シンガポール国立大学に留学する際は授業料全額免除+生活費支給という、最も待遇の良い奨学金を得てアジアの政治経済について学んだ。



キャプション

アの人とコミュニケーションをとることが何よりも楽しかった」からだそうだ。

### ■ 勉強に遊びに一生懸命の留学生活

慶応義塾大学総合政策学部に進学後は東アジアの政治経済を中心に勉強、充実した生活の中「アジア現地に住んでみたい」と感じた柴本さんは、同地域でも世界的に有名なシンガポール国立大学のFaculty of Arts and Social Sciences分を勉強にあて、3万ワードの修士論文を書き上げるのに膨大な量の文献を読みふける毎日。当時は卒業ない魅力を肌で感じる事ができます。人の素晴らしさも大きな魅力です」。通算3年のシンガポール留学語ってくれた。(聞き手/MW編集部・小川亜希子)



カナダ教育連盟は、カナダの教育関係者がカナダの現地での教育を日本に普及する目的で設立された非営利団体です。カナダ全土の公立中、高等学校、大学、専門学校、語学学校など約50校が加盟、過去10年間で約3000名が留学に参加しました。当連盟はお客様にカナダの教育事情やお勧めの留学プログラムなど最新情報をご紹介、カウンセリングを通じて一人一人に合った留学プランや受け入れ校を探します。(カウンセリングは初回のみ無料です) また、カナダの提携先を通じたインターンシップ体験のサポート、修学旅行、大学・専門学校・企業などの研修旅行の企画・手配も承っています。



## カナダ教育連盟 Canadian Education Alliance

東京、大阪、名古屋の主要都市にオフィス構えていますので、最寄りのオフィスにご予約の上、お立ち寄り下さい。遠方の方は電話、メールでのカウンセリングも受け付けております。

■ 東京オフィス  
〒107-0052 東京都港区赤坂7-4-7 Chez Ireneビル2F  
TEL: 03-3224-0946 FAX: 03-3224-0916  
e-mail: cea@gol.com website: www.ceacanada.org

■ 大阪オフィス  
〒541-0054 大阪府大阪市中央区北浜1-1-27 グランクリュ大阪北浜402号室  
TEL: 06-6212-3017 FAX: 06-6228-7117  
e-mail: cea.osaka@gol.com

■ 名古屋オフィス  
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅5-4-14  
TEL: (052)588-2690 FAX: (052)588-2690  
e-mail: cea.nagoya@gol.com

■ バンクーバーオフィス  
Executive Office Centre Suite 404-999 Canada Place Vancouver, B.C. Canada V6C 3E1  
TEL: (604)641-1311 FAX: (604)641-1314  
e-mail: fusaeh@telus.net